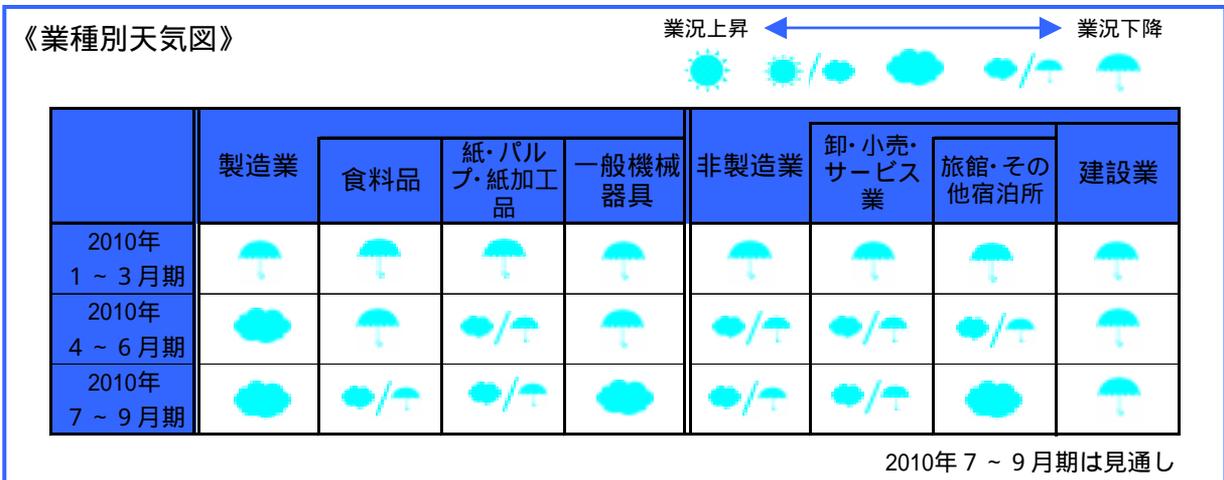
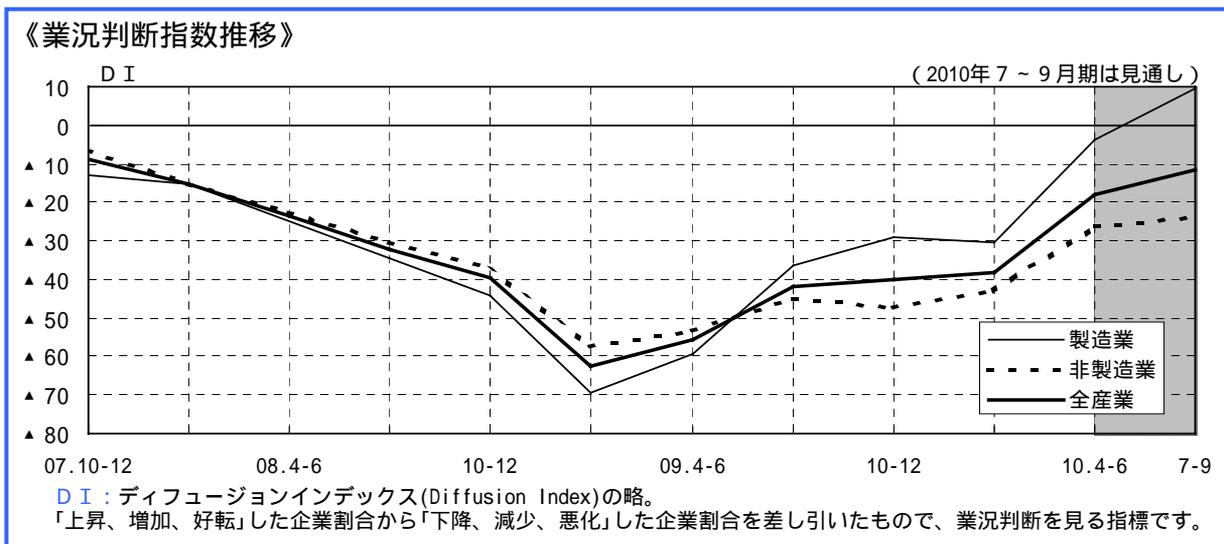


業況概要(自社) ～ D I は大幅に上昇、特に製造業で著しい改善～

静岡県東部地域における2010年4～6月期の業況判断D I (対前年同期比)は全産業で▲17.9(前期▲38.1)と大幅に上昇した。うち、製造業の業況判断D Iは▲3.8(同▲30.2)と改善が著しく、売上や利益の回復を背景に上向き感を強めている。一方、非製造業でも▲26.1(同▲42.7)とD Iの上昇が続いているが、製造業と比較すると回復は遅れる傾向がみられる。

2010年7～9月期の予想D Iは全産業で▲11.5と引続き上昇を見込んでいる。特に製造業では9.4とプラスに転じる予想となっており、先行きへの期待感が一層明確に現れてきている。



《調査の概要》

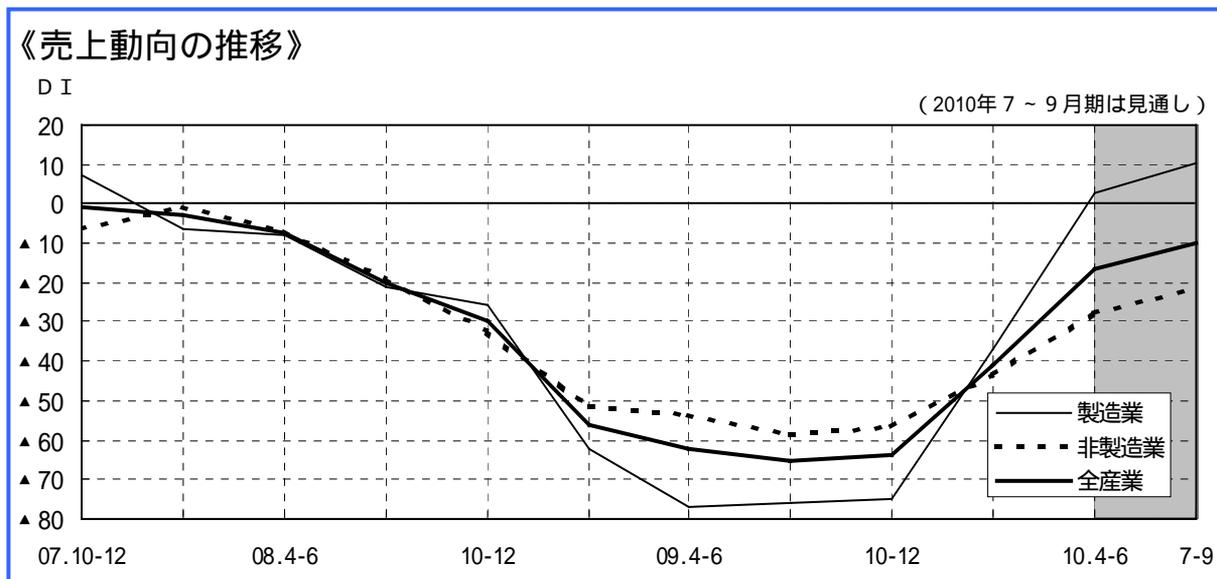
- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| <p>1. 調査目的
静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握</p> | <p>3. 調査方法
当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査</p> |
| <p>2. 調査対象企業
静岡県東部地域に立地する企業 1,050社
回答数 286 (回答率 27.2%)
業種別企業数は4ページ図表を参照</p> | <p>4. 調査対象期間
実績:2010年4～6月期
見通し:2010年7～9月期</p> |
| | <p>5. 調査時点
2010年5～6月</p> |

売上動向

前期に続き大幅に改善、製造業では2007年10～12月期以来のプラスに

2010年4～6月期の全産業の売上動向D I（対前年同期比）は▲16.5(前期▲41.0)と前期に続き大幅に上昇した。特に製造業では金属製品やその他製造業を筆頭に全業種で大幅に改善され、D Iは2.8(同▲36.8)と2007年10～12月期以来のプラスに転じている。一方、非製造業でも旅館・その他宿泊所やその他小売・サービス業をはじめ全業種でD Iが上昇し、全体D Iは▲27.9(同▲43.5)となっている。

2010年7～9月期(見通し)の予想D Iは、全産業で▲9.8と引続き上昇を見込んでいる。特に製造業では10.4となり、売上の下げ止まりから上昇・改善に向けた期待感がさらに強まっている。また、非製造業でも▲21.7と引続き上昇を見込んでいる。

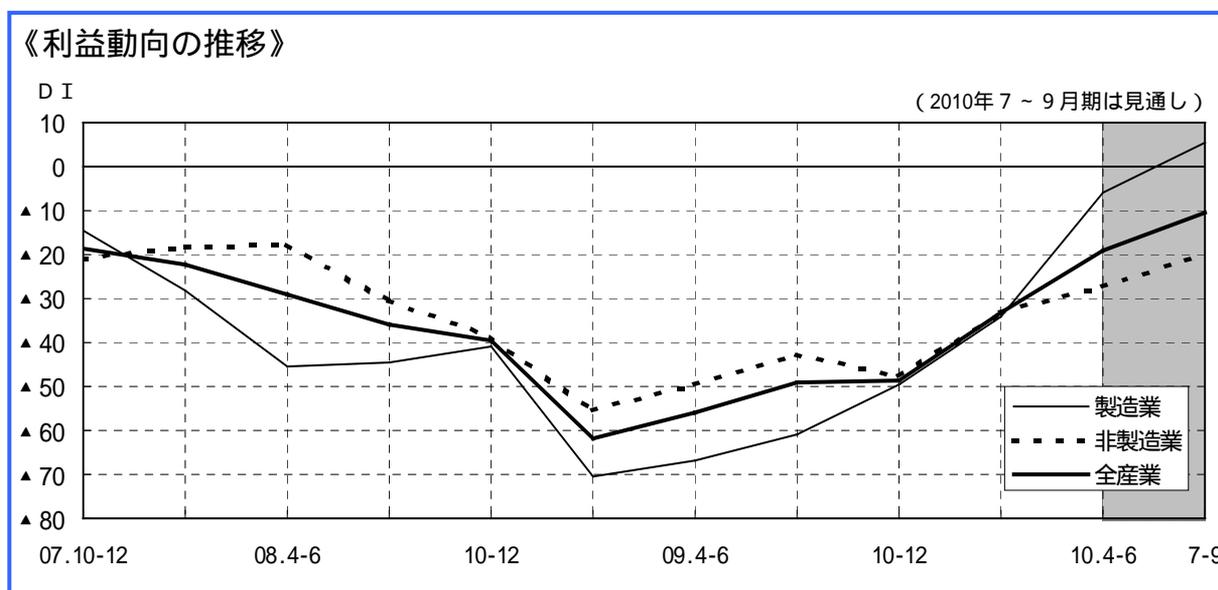


利益動向

製造業でD Iが大幅に上昇、非製造業でも改善が続く

2010年4～6月期の全産業の利益動向D I（対前年同期比）は▲19.3(前期▲33.3)で、連続して上昇となった。うち、製造業はパルプ・紙・紙加工品でD Iがやや低下したが、他の業種でD Iが上昇したため、全体D Iは▲5.7(同▲34.0)と大幅に上昇した。一方、非製造業では建設業でD Iが悪化したが、卸・小売・サービス業ではD Iが上昇し、全体D Iは▲27.2(同▲33.0)と改善が続いている。

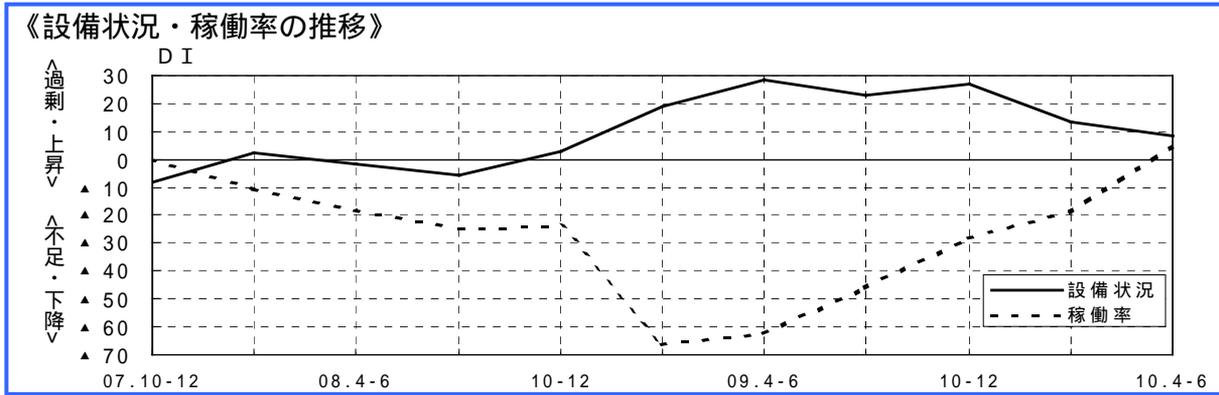
2010年7～9月期(見通し)の予想D Iは、全産業で▲10.5と今期比上昇しており、改善基調の持続が見込まれている。特に製造業では予想D Iが5.7とプラスに転じ、本格的な回復に向けた期待感が強まっている。



**設備状況・稼働率
(製造業)**

設備状況は「過剰」感弱まる、稼働率は「上昇」判断に転じる

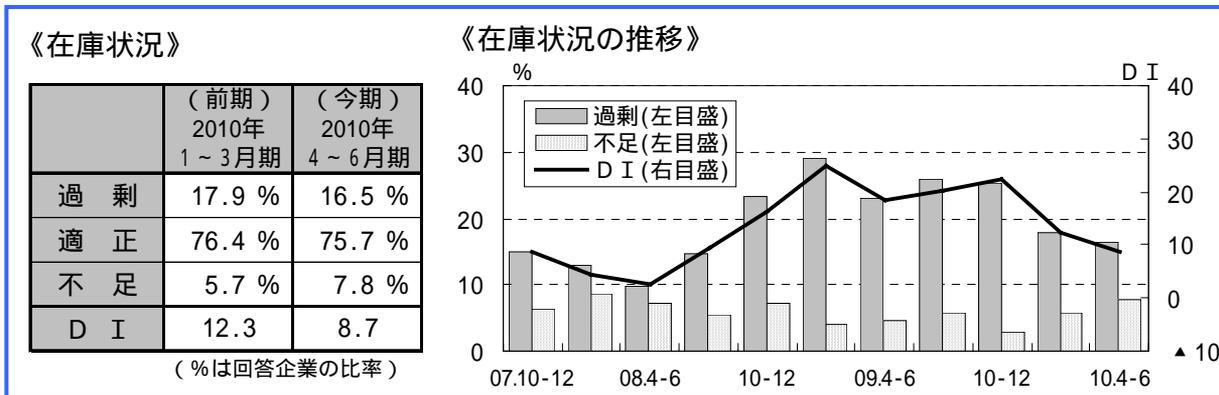
2010年4～6月期の設備状況DIは8.5(前期13.2)と2期連続して低下し、「過剰」感は弱まっている。業種別では食料品のみDIが上昇したが、他の業種ではいずれもDIが低下している。
一方、稼働率DIは4.8(同▲18.9)と引続き改善し、2007年7～9月期以来の「上昇」判断に転じた。食料品のみDIが低下したが、金属製品やパルプ・紙・紙加工品を中心に他の業種では上昇している。



在庫状況(製造業)

DIは連続して低下、在庫過剰感は緩和される

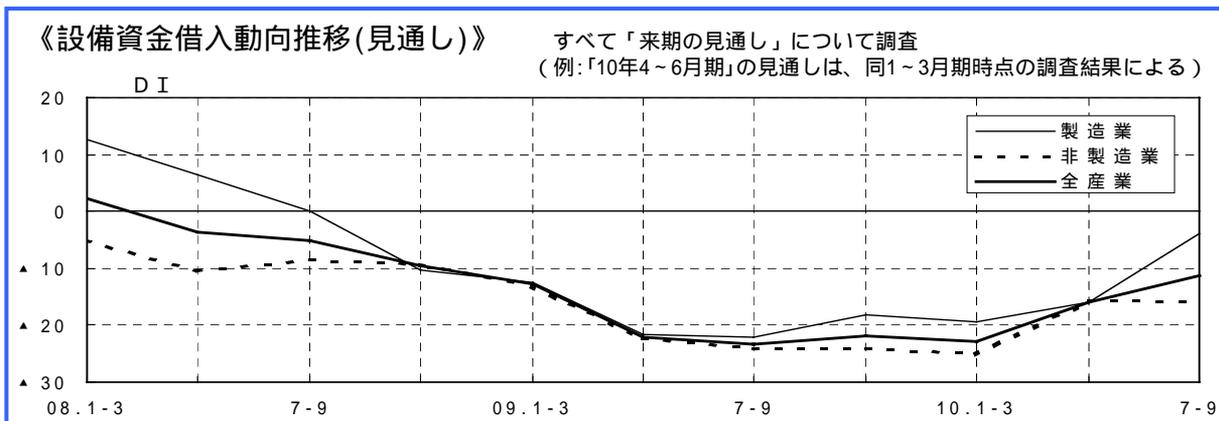
2010年4～6月期の在庫状況(製造業)DIは8.7(前期12.3)となり、前期に続き在庫過剰感が緩和された。「不足」と判断する企業の比率が上昇、「過剰」は低下傾向が続いている。
業種別では、一般機械器具でDIが上昇したが、食料品、パルプ・紙・紙加工品、金属製品ではDIが低下している。



**設備資金借入
動向(来期)**

製造業でDIが上昇、非製造業では横ばい

2010年7～9月期(来期)の全産業の設備資金借入動向(見通し)DIは▲11.4(前期▲15.9)と改善が続き、借入抑制の基調は弱まっている。製造業では▲3.8(同▲16.0)とDIの上昇が続いているが、非製造業は▲16.0(同▲15.8)と横ばいで、業種間で動向に差がみられる。



経営上の問題点

「原材料・仕入れ商品の値上がり」の指摘が大幅に増加

上位項目は前期と変わらないが、「受注・売上の停滞・減少」(68.9%)の比率は低下、「過当競争・製品安」(51.7%)の比率は上昇がそれぞれ続いている。一方、原燃料価格の上昇傾向を背景に「原材料・仕入れ商品の値上がり」の指摘が28.7%(前期14.4%)と大幅に増加した。特に製造業では全回答企業の51.9%に達するなど大きな課題となりつつあり、今後の業況判断への影響が懸念される。

《経営上の問題点(上位8項目)》

(社、%)

	09年10～12月期		10年1～3月期		10年4～6月期		順位 変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	206	78.0	214	73.5	197	68.9	
2. 過当競争・製品安	129	48.9	147	50.5	148	51.7	
3. 人材の育成	87	33.0	97	33.3	95	33.2	
4. 原材料・仕入れ商品の値上がり	36	13.6	42	14.4	82	28.7	
5. 生産・販売能力の不足	50	18.9	73	25.1	59	20.6	
5. 従業員の高齢化	52	19.7	58	19.9	59	20.6	
7. その他経費の増加	25	9.5	36	12.4	44	15.4	
8. 人件費の増加	44	16.7	40	13.7	33	11.5	

《業種別：回答企業数およびD I》

設備資金は来期の見通し、それ以外は今期実績

業種	企業数	売上動向	利益動向	設備状況	稼働率	在庫状況	設備資金
食料品	13	▲46.2	▲23.1	7.7	▲30.8	▲15.4	▲7.7
パルプ・紙・紙加工品	18	▲38.9	▲38.9	▲5.6	▲11.1	11.1	11.1
金属製品	15	73.3	50.0	0.0	53.3	7.1	▲13.3
一般機械器具	21	▲23.8	▲38.1	19.0	▲4.8	33.3	▲9.5
その他製造業	39	25.6	12.8	12.8	10.8	2.7	▲2.6
製造業計	106	2.8	▲5.7	8.5	4.8	8.7	▲3.8
旅館・その他宿泊所	15	▲26.7	▲40.0	-	-	-	6.7
その他小売・サービス業等	106	▲19.0	▲18.9	-	-	-	▲9.9
卸・小売・サービス業計	121	▲20.0	▲21.5	-	-	-	▲7.8
建設業計	59	▲44.1	▲39.0	-	-	-	▲32.2
非製造業計	180	▲27.9	▲27.2	-	-	-	▲16.0

特別調査：
従業員数・設備投資動向

従業員数は当面現状維持か現状よりやや抑制基調
設備投資は製造業で相対的に積極的な傾向がみられる

2010年4～6月期(今期)と比較した1年後(2011年4～6月期)の正社員数の予想動向(回答企業は上記と同じ)は、全産業で「増加する」が12.6%、「減少する」19.2%となり、減少が増加を上回っている。また、非正規社員についても全産業で「増加する」10.8%に対し「減少する」14.0%となっており、当面従業員数は現状維持か現状よりやや抑制を図る基調にあるといえる。

うち、業況や売上・利益判断等においてD Iの改善傾向が目立つ製造業でも「減少する」が正社員(22.6%)、非正規社員(14.2%)とともに「増加する」を上回っており、人件費を含むコスト削減への要請が雇用拡大に優先している状況が続いているとみられる。

一方、前年度と比較した2010年度の設備投資(金額ベース)は、全産業で「増加する」23.4%、「減少する」29.4%となっている。ただし、製造業では「増加する」(30.2%)が「減少する」(26.4%)を上回ったのに対し、非製造業では逆に「減少する」(31.1%)が「増加する」(19.4%)を上回っており、製造業で相対的に設備投資に積極的な傾向がみられる。

【1年後の正社員数見通し】 (%)

	製造業	非製造業	全産業
増加する	16.0	10.6	12.6
概ね横ばい	54.7	62.2	59.4
減少する	22.6	17.2	19.2
わからない・無回答	6.6	10.0	8.7

【1年後の非正規社員数見通し】 (%)

	製造業	非製造業	全産業
増加する	12.3	10.0	10.8
概ね横ばい	59.4	53.3	55.6
減少する	14.2	13.9	14.0
わからない・無回答	14.2	22.8	19.6

【設備投資(前年度比)】 (%)

	製造業	非製造業	全産業
増加する	30.2	19.4	23.4
概ね横ばい	41.5	43.3	42.7
減少する	26.4	31.1	29.4
無回答	1.9	6.1	4.5